

DTM 講座-補足資料

REAPER とその他

2013 年度 DTM 班 班長

*** 初めに ***

目次すら無いことから察していると思いますが、即興で作り上げた資料なので荒い所もありますがご勘弁を！

主に REAPER についてと、DTM をやる上で参考になるサイトを紹介します。

REAPER は興味のある人 or Domino が使いづらい！！と思う人だけ、参考になるサイトはぜひ皆さんみておいて下さい。

・ REAPER について

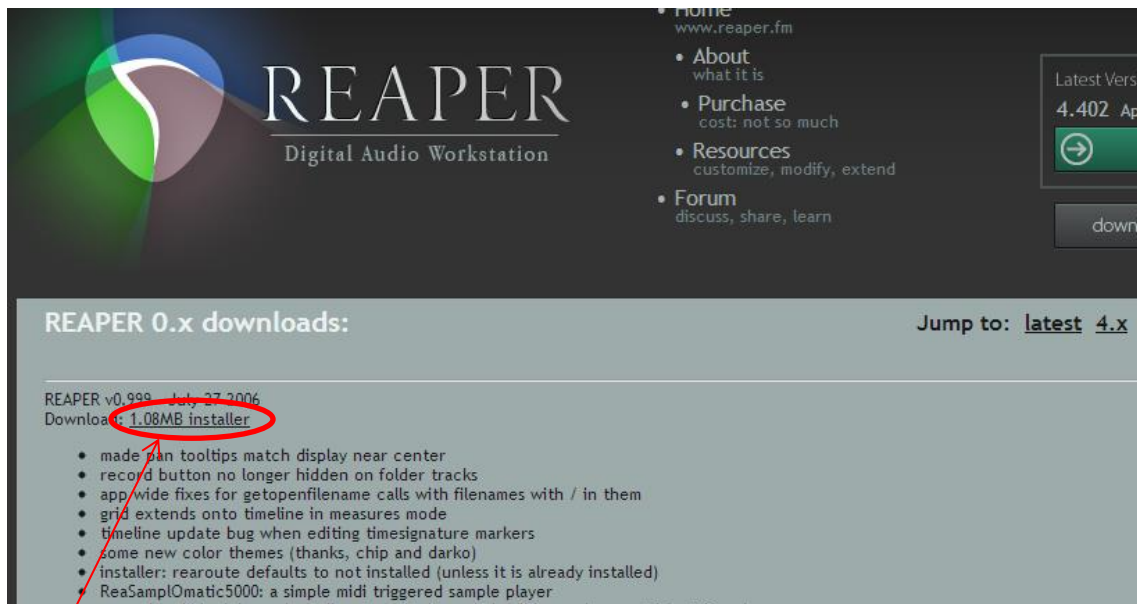
REAPER は MIDI 編集(ピアノロールでポチポチやるやつ)よりは、WAV 素材などを切り貼りしていわゆる音 MAD とかを作るのに向いていると言われている DAW です。個人的に VST 使うために Domino は VSTHost とか MIDIOke とか色々面倒だから、REAPER が使いやすいかな～と思うので昔は使っていました。

現在バージョン 4.xx とかありますが、これは有料のバージョンで、v0.999 までは無料版として配布されています。今回は無料版でいきますが、興味があれば有料版を買ってみてもいいでしょう。小規模商用なら\$60 で買えるらしいです。

• REAPER の設定

<http://www.cockos.com/reaper/download-old.php?ver=0x>

こちらのサイトに飛んで



ここをクリックして REAPER をダウンロードしましょう。

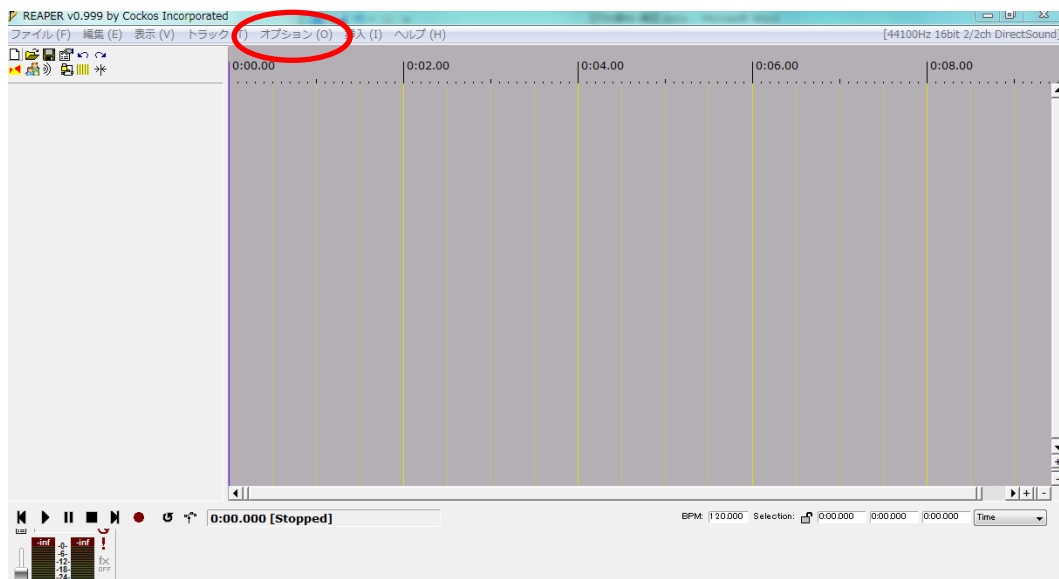
http://www12.atwiki.jp/free_dtm/pages/5.html

更にこちらのサイトから日本語化パッチもダウンロード。

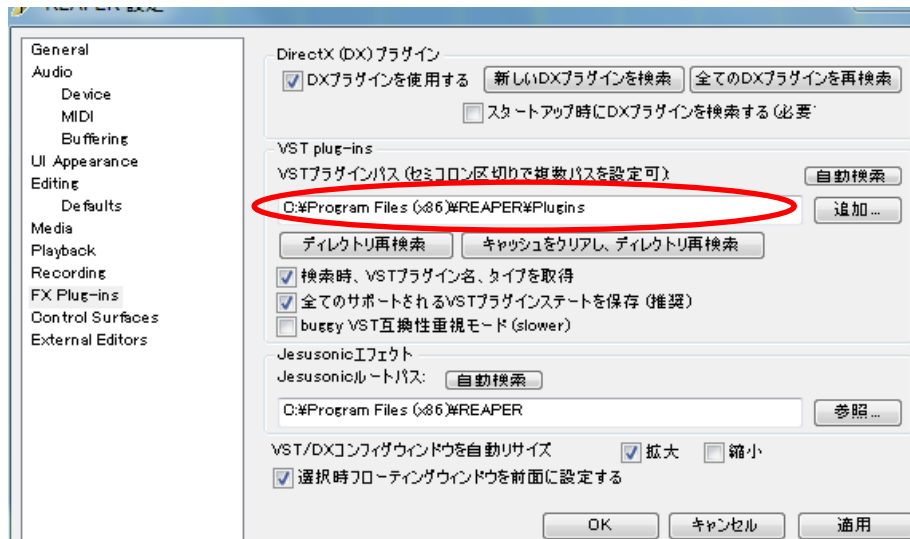
次に「reaper0999-install.exe」を実行して REAPER をインストールします。特にチェック付れたり外したりとかせず普通に「Agree」とか「Next」とかクリックで。インストールフォルダもこだわりなければいじらなくて大丈夫です。ただし、インストールフォルダはどこか覚えておきましょう。後でそのフォルダ

を開く必要があります。

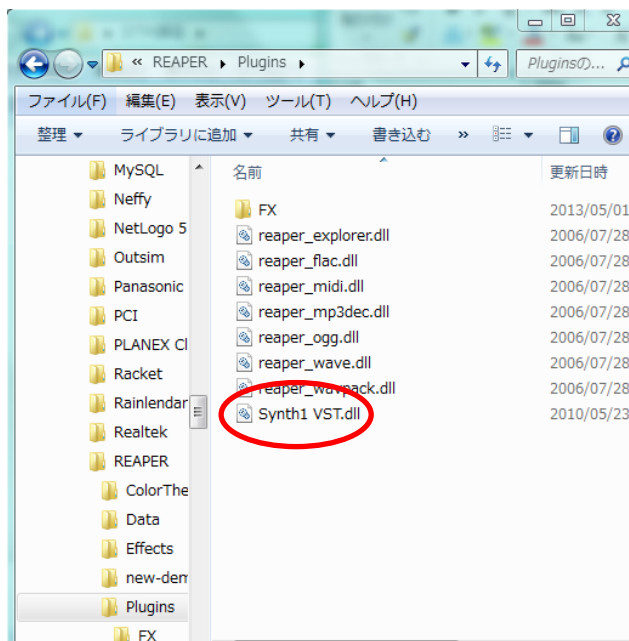
インストールしたら日本語化パッチを当てます。「reaper_ja.zip」を解答して出来たフォルダ内の「Reaper0.999 日本語化 1.01.EXE」を、REAPERをインストールした(「reaper.exe」がある)フォルダに移動させてから実行します。「正常終了」と出れば完了です。REAPERを開きましょう。



上のタブから「オプション」→「設定」をクリックします。



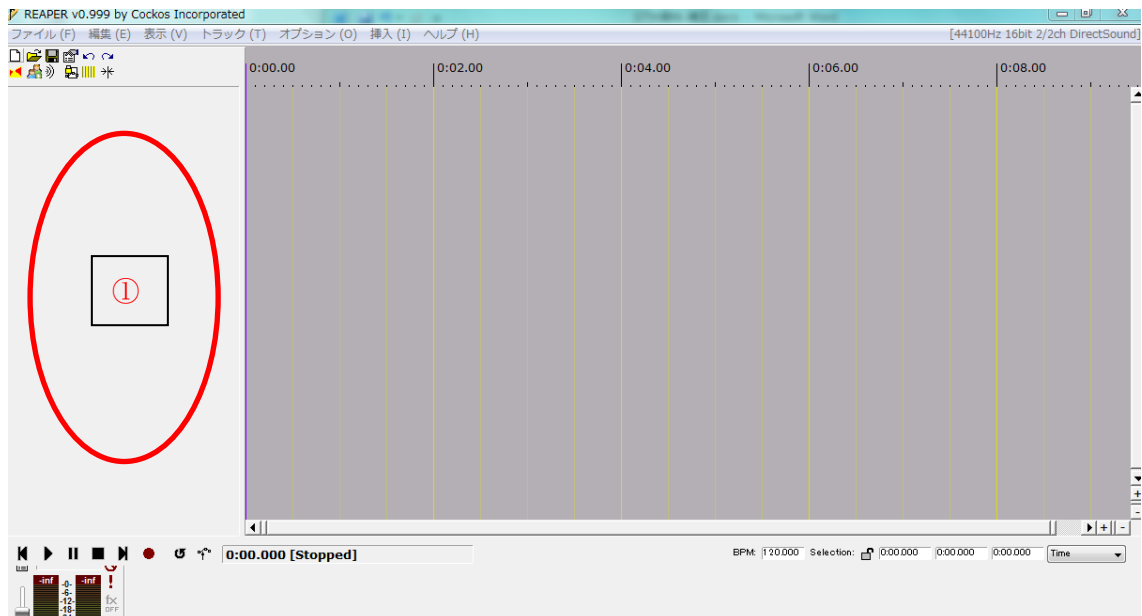
左欄の「FX Plug-ins」をクリック。赤枠の部分を見ましょう。ここに書いてあるフォルダ内にある VST プラグインを REAPER は認識して使うことが出来ます。ためにここに書いてあるフォルダ内に「Synth1 VST.dll」(VST の dll ファイルであれば何でも構いません)をコピーしてきましょう。

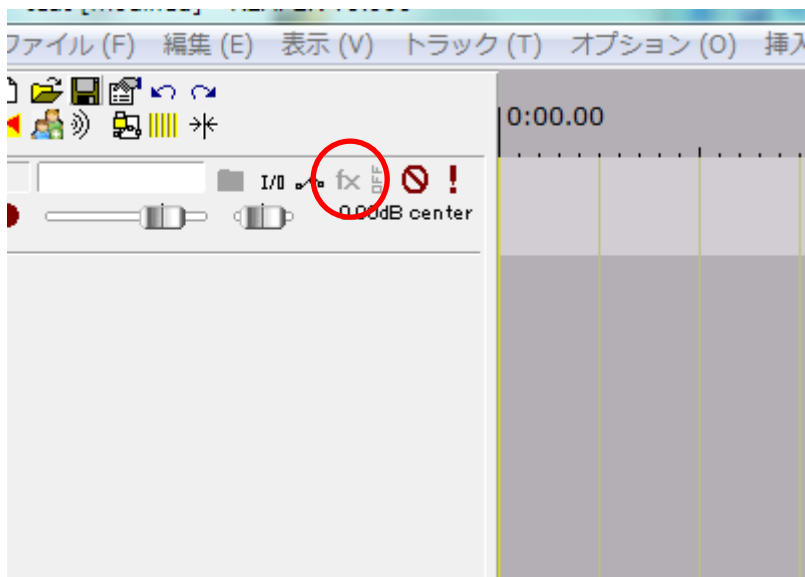


こんな感じでコピーしてきます。

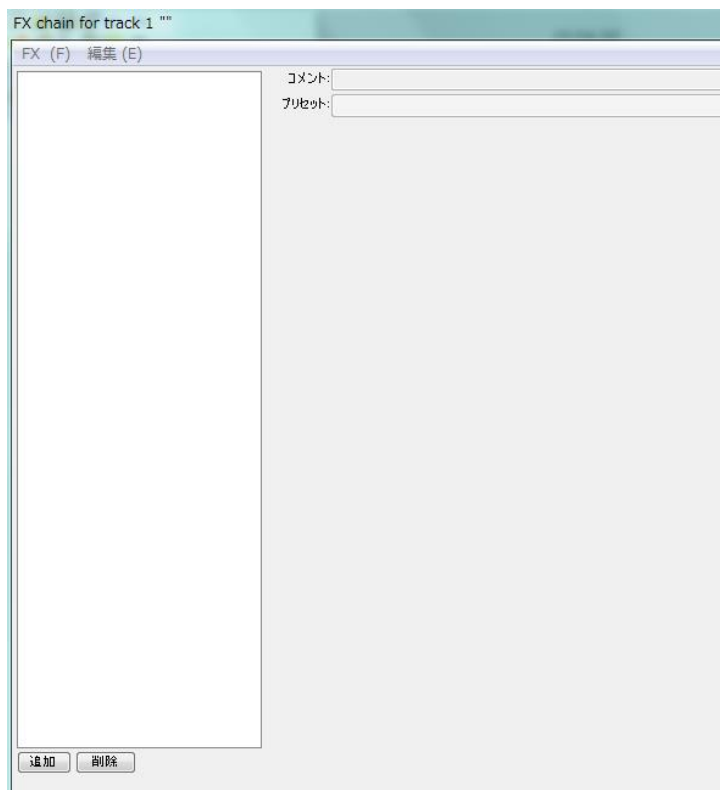
コピーしてきたら、さっきの「REAPERの設定」の画面で「ディレクトリ再検索」をクリックします。Synth1だけでなく同じ要領(dllをコピーor移動→「ディレクトリ再検索」)でどんどん他のVSTを追加して行って下さい。

次に、VSTが認識されているか確認します。①の箇所を右クリック→「トラックの追加」を押します。





出てきたトラックの「fx」と書いてあるところをクリックします。

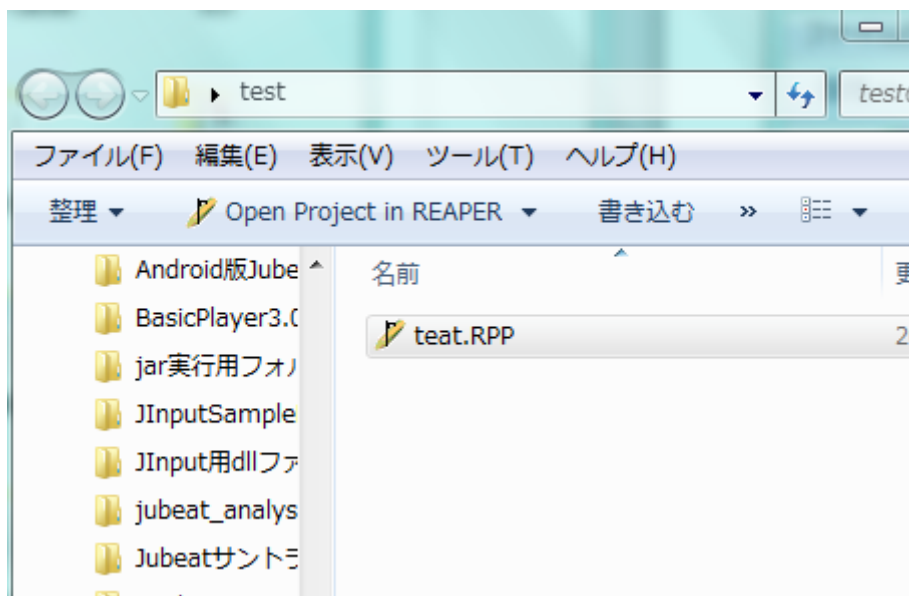


左下の「追加」をクリック。出てきたダイアログの左欄「VSTi」をクリック。

すると「VSTi: Synth1 VSTi(Daichi)」というのがあるはずですので、それをクリ

ック→OK。これで Synth1 の画面が出るはずですが。ここでプリセット選択とかパラメータとかをいじれます。

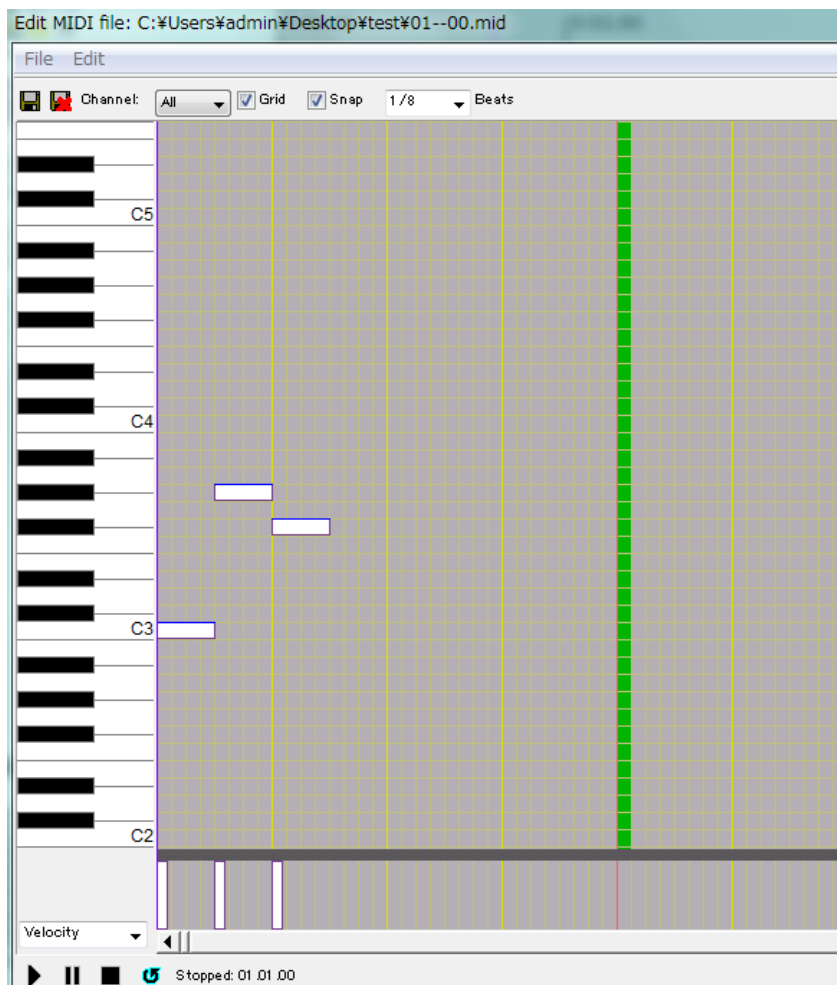
ここまでで一旦プロジェクトファイルを保存しましょう。上のタブ「ファイル」→「保存」で出来ます。適当に名前を付けて保存します。REAPER では MIDI 打ち込みの際にその都度 MIDI ファイルが作成され、このプロジェクトファイルと同じ階層に保存されていきます。なので、プロジェクトごと(曲ごと)に別々のフォルダに保存してあげるといいです。



こんな感じ。この階層にどんどん MIDI ファイルが生成されていきます。

次に実際に打ち込んでいきます。

上のタブ「挿入」→「新規 MIDI ファイル」で MIDI ファイルを作成します。出来た MIDI ファイル上で右クリック→「エディタで開く」でピアノロールが出ます。

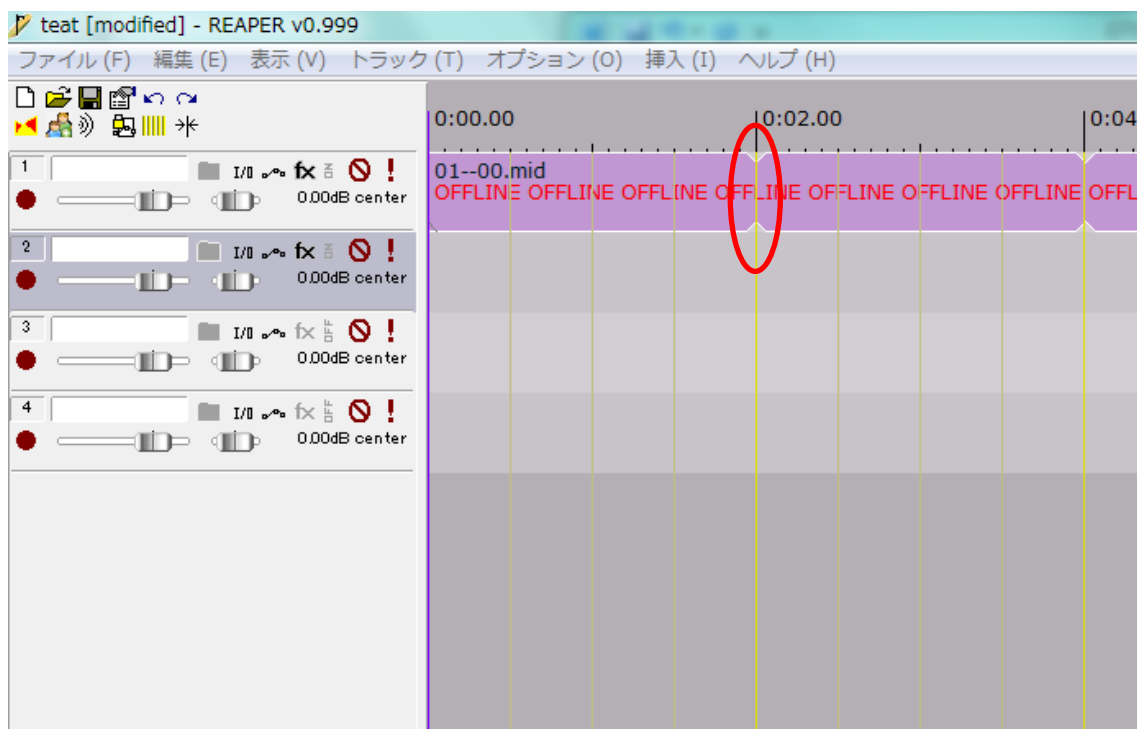


緑色の棒はこの MIDI ファイルの終了位置です。最初は左端にあるので、右側にドラッグしましょう。

画面上左クリックしながら右に動かすとノートが置けます。(白いやつ)これで

好きなように打ち込んでいきます。音はさっきの設定した VSTi の方で設定した音になっているはずです。

MIDI 編集画面を閉じます。



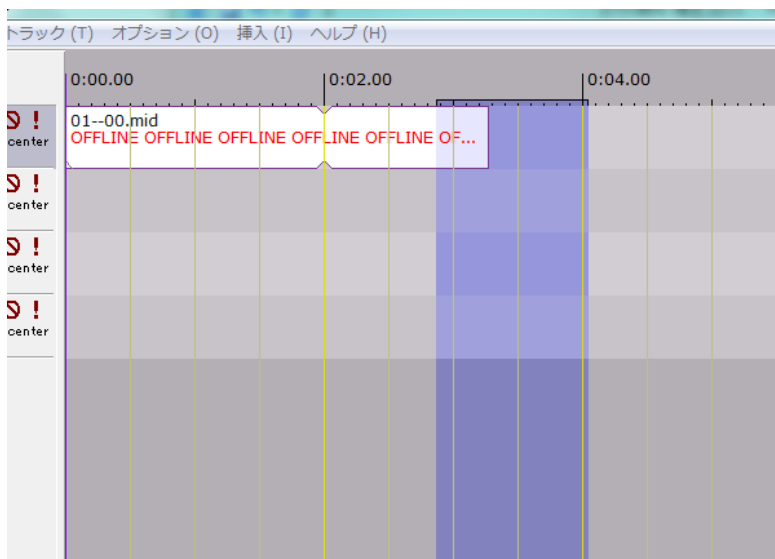
↑では OFFLINE と出ていますが、実際の画面ではさっき置いたノートが白い線で見えるはずです。赤丸の箇所でもた最初のノートのパターンが繰り返されているはずです。先ほど MIDI 編集画面で設定した緑色の線でループしています。MIDI ファイルの端っこをドラッグすると長さを変えられて、同じパターンを何度も繰り返させることができます。

MIDI ファイルは「音階の情報」みたいなものなので、別トラックに移動(上下にドラッグ)させれば、そのトラックで設定した VST で再生されます。

REAPER は wav ファイルで音楽を出力できます。上タブ「ファイル」→「レンダリング」で出来ます。

触りだけですが、とりあえずここまでで一応曲はできるはずです……。

・ちょっと注意事項



MIDI ファイルの長さを変えようとしてこんな感じで青い範囲が表示されてしまいかもかもしれません。これは範囲指定を表し、この状態で再生するとこの範囲内でループしてしまいます。この範囲指定はエスケープキー(キーボード左上の「Esc」キー)で解除できます。

たくさんトラックを使っているプロジェクトを開いて、いきなり再生を押すと「RunTime Error!!」とかいうエラーが出るかもしれません。効果的な対処法は分かりませんが、ある程度トラックをミュート(音を出ないようにさせる。各トラックの禁止マーク(?) クリックで出来ます)させて、再生。その後徐々に再生させるトラックを増やすと、最終的に全トラック再生できたはずですが、自分はエラーに悩まされて結局 FL Studio を使いました……。

・サイト紹介

ざっくり紹介します。

<http://siru.gnk.cc/yutan/reaper.html>

=>REAPER の設定・使い方について書いてあります。MP3 出力とかも。

http://www12.atwiki.jp/free_dtm/pages/1.html

=>日本語化パッチをダウンロードしたところ。VST、DAW、REAPER の使い方について載っています。

<http://www.digloops.com/>

=>フリーとか比較的安いサンプリング音源があります。だいたい wav 形式ですので REAPER だったらそのままドラッグ&ドロップで使えます。

<http://www26.atwiki.jp/soundmake/>

=>シンセサイザーでの音作りについて載っています。

<http://dtm.ojaru.jp/>

=>DTM 初心者向けのまとめです。まずはここを見るといいかも。

<http://www.good-luck.org/freevst-about.html>

=>フリーの VST を紹介しています。VST 探すのに困ったら。

他にもニコニコ動画や youtube とかで「Synth1」とか「DTM」とかで検索したりすると、ためになるものが結構出てきます。DTM の情報はネット上に山ほどあるので、分からないことがあれば「まずは調べる」ことが大切です(もちろん分からないことがあれば、気軽に聞いて下さい！！答えられるか分かりませんが(^_^;))

・最後に…

他にも「エフェクト」とか「ミキシング」とか「コード理論」とか覚えることは山ほどありますが、地道に学んでいきましょう！！ 実際僕も知らないことだらけですので…。

あと有料の DAW(Cubase とか FL Studio とか)を買うのをオススメします！！値段が高いですが、やっぱり使い勝手は Domino とか無料版 REAPER とかより断然上です。慎重にデモ版とかを試してみて、気に入ったら買ってみたいかもしれません(そこら辺迷ったりしたら調べたり、相談してください！！)

ではまたの機会にお会いしましょう！！

(°Д°)…

|≡ツ